



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社アクリート 上場取引所 東
 コード番号 4395 URL <https://www.accrete-inc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 優成
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 ビジネスサポート (氏名) 栗原 智晴 TEL 03-5433-0589
 部門ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	359	0.1	70	△3.1	69	0.9	46	△1.2
2019年12月期第1四半期	358	10.8	72	42.2	68	52.3	47	57.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	8.49	8.09
2019年12月期第1四半期	8.70	8.22

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,274	1,077	83.9
2019年12月期	1,244	1,026	82.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,069百万円 2019年12月期 1,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	6.1	260	2.3	260	4.4	180	5.4	32.77
	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	1,800	27.3	340	33.8	340	36.5	230	34.7	41.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	5,522,000株	2019年12月期	5,522,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	45株	2019年12月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	5,521,955株	2019年12月期 1 Q	5,454,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により緩やかな景気回復基調で推移する一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響による世界経済に及ぼす懸念が高まっており、景気の先行きは不透明な状況となっております。

SMS配信サービス業界においては、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショウ（飲食店における無断キャンセル）対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は急速な広がりを見せており、2023年の市場規模は配信数31億8,000万通と予想され（「ミックITレポート 2019年9月号」（ミック経済研究所））、2018年度から2023年度までの年平均成長率は46.7%増で、国内法人市場は最低5年先まで安定高成長を続けると予想されております。

このような状況の中、当社は「デジタル社会に、リアルな絆を」を会社のビジョンとして掲げ、「コミュニケーションするすべての人に、セキュアで最適なプラットフォームを提供する」というミッションのもと、SMS配信サービス事業を展開し、国内の携帯電話事業者4社との直接回線接続、大量配信に耐えうるSMS配信システムなどから海外SMSアグリゲーター、IT企業、コールセンター、人材サービス会社等からの支持を受け、業界内でのポジションを確立しております。

当第1四半期累計期間におきましては、国内市場においては、SMS配信市場の拡大を受け、人材サービス、国内大手IT企業等でのSMS配信の増加もあり、配信数や取引者数が順調に推移した結果、国内売上については大きく増加しました。一方、海外SMSアグリゲーター経由については、下げ止まりの傾向は見えているものの、前第2四半期以降、GAF Aに代表される一部のグローバルIT企業のSMS配信において、価格競争により一部採算割れが発生しSMS配信数を減少させたことから、対前年同期比で大きく減少する結果となりました。

このような市場環境を踏まえ、当社では「SMS×α」をコンセプトにSMSを活用した付加価値の高いサービス開発を推進しており、2020年3月にフィーチャーフォンでも利用可能な双方向SMSによる一斉連絡サービス「アクリートSMSアラート」を最大2カ月無償で提供、また、SMS配信システムを活用した情報配信サービスを期間限定で無償で提供するなど、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する企業・自治体等をBCP対策の側面から支援するサービスを積極的に展開しております。

このほか、2020年2月に㈱NTTドコモ、KDDI㈱、ソフトバンク㈱の3社が提供する「+メッセージ」公式アカウントサービスを一元的に企業・自治体等に提供を開始することを発表するなど、高速・大容量の5Gネットワークの拡大に対応した新サービスの開発やサービスの拡充についても積極的に展開してまいります。

以上の結果、売上高は359,306千円（対前年同期比0.1%増）、営業利益は70,000千円（同3.1%減）、経常利益は69,459千円（同0.9%増）、四半期純利益は46,891千円（同1.2%減）となりました。

なお、当社はSMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、主に四半期純利益の計上により純資産が50,496千円増加し、財政状態は良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて29,925千円増加し1,274,086千円となりました。これは主に現金及び預金の増加23,182千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて20,570千円減少し196,663千円となりました。これは主に未払法人税等の納付等による減少26,174千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて50,496千円増加し1,077,423千円となりました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加46,891千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想については、2020年2月13日付「2019年12月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	988,282	1,011,464
売掛金	184,245	186,805
未収消費税等	22,249	24,590
その他	2,460	3,684
流動資産合計	1,197,237	1,226,545
固定資産		
有形固定資産	6,514	6,338
無形固定資産	32,537	34,013
投資その他の資産		
破産更生債権等	1	1
その他	7,871	7,189
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,871	7,189
固定資産合計	46,923	47,541
資産合計	1,244,161	1,274,086
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,304	154,075
未払法人税等	50,182	24,008
賞与引当金	—	3,175
その他	16,746	15,404
流動負債合計	217,233	196,663
負債合計	217,233	196,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,521	269,521
資本剰余金	263,357	263,357
利益剰余金	489,567	536,459
自己株式	△39	△39
株主資本合計	1,022,406	1,069,297
新株予約権	4,520	8,125
純資産合計	1,026,927	1,077,423
負債純資産合計	1,244,161	1,274,086

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	358,884	359,306
売上原価	228,618	217,158
売上総利益	130,266	142,147
販売費及び一般管理費	58,043	72,147
営業利益	72,223	70,000
営業外収益		
受取利息	3	4
助成金収入	—	180
その他	—	0
営業外収益合計	3	186
営業外費用		
為替差損	3,412	727
営業外費用合計	3,412	727
経常利益	68,814	69,459
税引前四半期純利益	68,814	69,459
法人税、住民税及び事業税	21,483	22,087
法人税等調整額	△108	481
法人税等合計	21,374	22,568
四半期純利益	47,439	46,891

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、SMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。